

# 岩津ねぎだより

平成 28 年 8 月 10 日  
岩津ねぎ産地協議会  
生産支援チーム

8 月 10 日岩津ねぎ産地協議会・生産支援チームで主にチェーンポット苗を定植したほ場の巡回を行いましたので、注意点をお知らせします。

## 1 全体の状況

### ① 乾燥・高温で生育停滞

8 月 6 日一部の地域で集中豪雨に見舞われましたが、全体的には水が足りない状況です。これに高温も相まって、ねぎの生育は停滞ぎみです。

### ② ネギアザミウマ、ネギハモグリバエが増加傾向、ネダニも散見。

高温乾燥で害虫が増加傾向にあります。また、食害の傷から軟腐病など病気が感染しやすくなるので注意が必要です。ネダニの食害で根が伸びていないほ場も見られました。

### ③ 根が酸欠状態のほ場

チェーンポットの根鉢の周りの土が、折からの豪雨でしまり、酸欠に見舞われているほ場が散見されました。また、定植前に定植溝の底が深く・細かく耕耘されていないため、酸欠に見舞われているほ場も散見されました。

### ④ 軟腐病、白絹病、黒斑病が散見される

これら酸欠状態のほ場では、軟腐病・白絹病が多く見られました。根の周りの酸欠状態を解消する必要があります。また、前年度黒斑病が多かったほ場は、今年も多発していました。

### ⑤ 雑草が多い

定植時の除草剤（ゴーゴーサン）が効いていないのか、雑草が多いほ場が散見されました。雑草は小さいときに除草作業してください。後手に回ると除草作業が重労働になります。

## 2 早く（6月頃）定植したほ場の注意点

### ① 酸欠で弱った株に病気が付いています。防除しましょう。

病気は弱り目に祟り目。酸欠で弱ったねぎは病気にかかりやすいです。

#### ア. 軟腐病

トロっと腐って臭いがします。早めに抜き取りましょう。

発生前のほ場はオリゼメート粒剤を土壌混和し予防しましょう。また、ヨネポン水和剤、Zボルドーによる予防散布もしましょう。

#### イ. 白絹病

白絹病は土を掘ってみると白い菌糸がはびこっています。土中に太くて長い菌糸を伸ばして、畝に沿って広がっていきます。ひどい株は抜き取りましょう。併せて早急にモンカットフロアブル40も灌注処理しましょう。

#### ウ. 黒斑病

写真は典型病斑です。ここに黒斑病の孢子（病気の種）がいます。黒斑病は肥切れでも発病しやすいと言われています。秋雨で多湿状態になると一気に増えますので、いまのうちに防除して駆逐しましょう。

### ② 襟首より下が伸びている場合中耕培土が必要です。

写真のように襟首より下が伸びているほ場では、襟首の下まで培土しましょう。また、オリゼメートの土壌混和が済んでいない場合は、培土前に散布しておきましょう。

よう。

### 3 通常の時期（7月頃）に定植したほ場の注意点

#### ① 株周りの土が硬く、根が酸欠で、株が弱っています。

根が酸欠にならないように根鉢周辺の土壌をほぐしてやってください。具体には中耕除草のとき、根の周りの環境改善を意識して、根鉢の際まで耕します。ただし、襟首より上に培土すると生育ストップで逆効果になりますので注意してください。

#### ② 病気は予防が肝心。

軟腐病は発生前の予防が重要です。オリゼメート粒剤を土壌混和してください。白絹病・軟腐病株は蔓延しないうちに抜き取って下さい。白絹病は初発にモンカッタフロアブル40を灌注すると直ります。たっぷりの灌注がコツです。

### 4 共通事項

#### ① 害虫防除

乾燥がつづきネギアザミウマ、ネギハモグリバエ、ネダニが増加傾向にあります。早めの防除をこころがけましょう。

### 5 病害虫の防除

病害虫名	特徴	薬剤防除
軟腐病	<ul style="list-style-type: none"><li>・軟化腐敗症状（トロっと溶けて腐る）</li><li>・軟腐臭（オエッとくる臭い）</li><li>・高温多湿で多発する。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・オリゼメート粒剤（土寄せ時株元散布）</li><li>・ヨネポン水和剤</li><li>・Zボルドー</li></ul>
白絹病	<ul style="list-style-type: none"><li>・下葉が萎れ枯れている株が連なっている。</li><li>・掘ってみると、白くて比較的太い菌糸がはびこっている。</li><li>・地際部に赤茶色の小さな菌核を密生する。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・モンカッタフロアブル40</li></ul>
黒斑病	<ul style="list-style-type: none"><li>・初期病斑はやや凹んだ楕円形の斑点。</li><li>・やがて長楕円に病斑が拡大し、中心部に紫黒色の粉がつく。これは孢子。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・テーク水和剤</li><li>・オンリーワンフロアブル</li><li>・ヨネポン水和剤</li></ul>
ネギアザミウマ ネギハモグリバエ	<ul style="list-style-type: none"><li>・乾燥が続くと発生が増える</li><li>・ネギアザミウマの症状：かすれた食害痕で葉が白っぽく見える。</li><li>・ネギハモグリバエの症状：最初白い吸汁痕が規則的に縦に並ぶ。やがて、ひと筋書きのような模様ができる。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ダントツ粒剤（株元施用）</li><li>・ディアナSC</li><li>・スピノエース顆粒水和剤</li></ul>
ネダニ	<ul style="list-style-type: none"><li>・葉が萎れ元気が無い。抜いてみると根盤部に寄生して根を食害し、根が伸びていない。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ランネット水和剤（同時防除の効果があり）</li></ul>

注意）農薬は、使用基準を守って使用しましょう。



ネギアザミウマ被害葉



元気の無いねぎ。土が硬い。掘ってみると根が出ていない。



(左) 白絹病が横に広がった様子。(右) 軟腐病は、枯れた葉の根元が溶けて腐っている。



(左) 6月頃定植したねぎ。倒れそう。培土を待っている。(右) スペリヒユがビッシリ。



雑草なし、生育良好、根もビッシリ。



土が硬くて、チェーンポットの外に根が張れない。

<問合せ先>

- 和田山営農生活センター : 672-4800
- 朝来営農生活センター : 670-4341
- 山東営農生活センター : 670-7744
- 朝来農業改良普及センター : 672-6886